

No.114

令和5年 夏

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

石川県七尾美術館だより



絵師も動物も、人気モノ勢揃い―動物たちの浮世絵展

7月30日(日)～9月18日(月・祝)【会期中無休】

色々なジャンルの展覧会を開催している夏の特別展。今年は人気の浮世絵です。また、夏休みにあわせ、親子で楽しめるテーマです。

江戸の人々に親しまれた浮世絵には、しばしば動物たちが登場します。江戸三大ペットの猫、犬、金魚をはじめ、人と共に働く馬、猿から、舶来の象、孔雀、オウム、そして空想の珍獣まで、懐いたかと思えば時には化けたりと、様々な姿が描かれています。

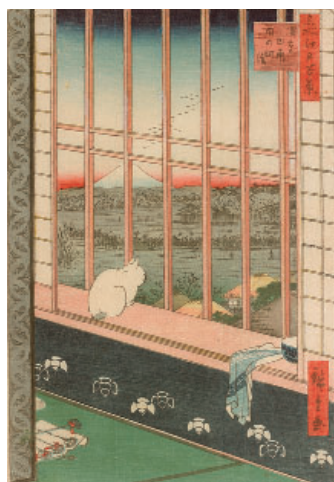
彼らを可愛らしくも、滑稽にも、したたかに描くのは、歌麿、広重、北斎から、歌川豊国、国貞、国芳など、誰もが知る人気絵師たちです。



「流行美人 浅草公園水族館」楊州周延



「風流庭子の孔雀」菊川英山



「名所江戸百景 浅草田南西の町詣」歌川広重



「大日本六十余州之内 安房 里見の姫 君伏姫」三代歌川豊国

美人画、役者絵、武者絵から幕末の開化絵…しかし今回は動物たちが主役です。そこかしこに動物たちが登場する浮世絵は、人と動物がともに生きた当時の風俗を今に伝えています。まさに「浮世絵でみる動物図鑑」ともいえる本展で、ぜひ、浮世絵の楽しみ方を再発見してください。

1章「暮らしの動物たち」

愛玩動物の人気モノは猫、犬、金魚。猫は今と変わらずいたずら好きで、自由気ままな姿が人々の心を捉えました。犬は国産犬の狆(ちん)から異人さんに連れられる西洋犬まで登場します。意外だったのは金魚売りで、実はなんと武士のサイドビジネスでもあったようです。



「流行浴衣当世揃 十三代目市村羽左衛門の金魚売」三代歌川豊国

2章「働く動物たち」

馬や牛の絵からは、暮らしの移り変わりがうかがえます。戦国時代の馬は命を託す戦友、太平の世になると荷運び、牛は農家の大事な働き手、猿は旅芸人と共存共栄の稼ぎ手でした。まさに、人の暮らしに欠かせないパートナーです。

※出品作品はすべて中右コレクションです。
※作品は一部変更の可能性があります。



「英雄日本水滸伝 近江の阿兼」歌川国芳

3章「空想の動物たち」

人物や事象をおもしろおかしく、比喩的に描いた戯画、妖怪絵、擬人画。説話などに登場する狐と狸、妖術使いがイリュージョンで生み出したガマや大蛇、安政江戸地震で地震除けに「なまず絵」が大流行。大胆奇抜な発想と抜群のテクニックで、化かしたり怖がらせたりと、絵師の腕が冴えわたります。動物戯画は、今の漫画のような一大ジャンルになりました。



「月百姿 吼喊」月岡芳年

4章「舶来の動物たち」

象や駱駝。当時、本来は日本に生息しない動

物を浮世絵で見た人は、空想の珍獣が実在したと驚いたことでしょう。開港した横浜には、象や虎、駱駝が運ばれ、珍しい動物を見れば「御利益が得られる」と噂されるほど、見世物が賑わい、舶来の動物たちを描いた浮世絵も飛ぶように売れました。



「新渡舶来大象之図」歌川芳豊

5章「肉筆画」

「肉筆画」は肉筆浮世絵とも呼ばれ、江戸時代に成立した浮世絵のジャンルの一つ。錦絵と呼ばれる浮世絵版画と区別して、浮世絵師が自らの筆で直接絹や紙に描いた浮世絵をいい、世界に1点の動物が登場する浮世絵です。



「舶来の駱駝」紀憲

関連イベント

①開会式&②特別ギャラリートーク

日時：7月30日（日）

① 10時〜開会式（招待者 一般来館者）

② 10時30分〜11時30分

特別ギャラリートーク（約45分）

講師：②中右 瑛（国際浮世絵学会常任理事）

※開会式で参加の方全員に、記念コースターを1枚プレゼントします。

③UKIYO E アニマルめりえ

会期中随時、どなたでも5種類のめりえをお楽しみいただけます。

④江戸の町にタイムトリップ！記念撮影コーナー

会期中随時、どなたでも大型パネルの前で記念撮影ができますので、カメラ持参で来館ください。（作品は、一部を除き撮影禁止）

※①と④の一部を除き、大学生以上は観覧券が必要です。

★オリジナルグッズも取り揃えております。

◇観覧料

	一般	個人	団体
大学生	350円	800円	700円
	300円		

※高校生以下無料・団体は20名以上です。

こだわりの逸品たち―池田コレクション展

7月1日(土)～23日(日)

当館が平成7年（1995）に開館して以来、所蔵品の中核として愛されてきた「池田コレクション」。七尾市出身の実業家・池田文夫氏（1907～87）が生涯をかけて蒐集したこの美術工芸品は、現在289点に及んでいます。当館では、毎年数回にわたり様々なテーマで紹介しています。

今回の展覧会では、同コレクションより2つのテーマで80点を一堂に展覧します。

【第1展示室】

《日本画と金工を中心に》

池田コレクションの絵画は、多くが近現代



「炭焼夕山図」川合玉堂



「象嵌飛燕置物」高橋介州



「鼠志野草花文向附」



「ノンコウ赤茶碗 銘小判」樂 道入

日本画で、池田氏が岐阜県大垣市で紡績会社を設立された経緯もあり、岐阜県ゆかりの川合玉堂や大橋翠石などの作品が含まれています。また、宮川長春などの肉筆浮世絵もあり、幅広い内容となっています。今回は肉筆浮世絵を含む「美人画」や、「観世音菩薩」を描いた作品などを紹介します。

一方、金工作品は同コレクションの中では多くありませんが、金沢市出身の高橋介州による、動物をモチーフにした作品が数点あります。小品ながらも洗練された作品で、愛らしくて見て飽きません。今回は、そんな愛らしい動物たちに、ぜひ会いに来てく

ださい。

【第2展示室】

《味わい深き陶磁器たち》

池田コレクションの中で、最も点数が多いのが陶磁器で、茶人たちも見入る優品が揃います。岐阜県ゆかりの「志野」「織部」といった美濃焼が充実するほか、追加ご寄附により、石川県ゆかりの「九谷」なども加わっています。今回は池田氏がこだわり、愛着を持って蒐集した陶磁器より、志野・織部・九谷・唐津・楽など幅広く展示。種類も香合から茶碗、鉢や皿、向附や水指、徳利や盃まで、多岐にわたって紹介します。それぞれの持つ味わいをお楽しみください。

◇観覧料

	一般	個人	団体
大学生	280円	280円	220円

※高校生以下無料・団体は20名以上です。

※掲載作品はすべて池田コレクションです。

貸館催し物案内

市民ギャラリー

第55回石川県勤労者写真サロン展

7月8日(土)～9日(日)

初日は10時から 最終日は17時まで

主催 石川県勤労者文化協会

連絡先 平日 076(231)1746

休日 090-2374-7907

浪漫DE遊・DUO

7月12日(水)～17日(月・祝)

初日は10時から 最終日は14時まで

主催 池上奨・村山眞

連絡先 080-3429-9993(村山)

第28回七尾美術作家協会展

― 静から動へ ―

7月21日(金)～7月23日(日)

最終日は16時まで

主催 七尾美術作家協会

連絡先 090-8268-6232(内藤)

第29回七尾高校同窓美術会展

9月29日(金)～10月1日(日)

最終日は16時まで

主催 七尾高校同窓美術会

連絡先 0767(52)1613(加地)

アートホール

第30回虹の翼コンサート(ピアノ発表会)

8月6日(日) 開演13時30分

主催 上田ピアノ教室

エノモトピアノ音楽教室

林ピアノ教室

岡本ピアノ教室

連絡先 0767(32)4120(上田)

第24回友の会鑑賞の旅

いしかわ百万石文化祭 2023 記念!

金沢で「名宝」と「からくり」に触れる旅

石川県では今年の10月に「第38回国民文化祭」、通称「いしかわ百万石文化祭 2023」が開催され、それに伴い各地で様々なイベントが行われます。

石川県立美術館・国立工芸館では2館合同で「三の丸尚蔵館」の所蔵品を紹介する展覧会が催され、皇室に伝わった日本美術を代表する名品や加賀前田家ゆかりの作品などが一堂に展示されます。

今回のバス旅行では**特別事前レクチャー付き**で展覧会をご鑑賞いただきます。また、午後は醤油の街・大野を訪問。江戸時代のからくり師・大野弁吉の業績を紹介する大野からくり記念館で、面白い「からくりの世界」をお楽しみください。

日 時 10月19日(木) 7:45 出発～16:30 頃帰着予定

見学地 石川県立美術館・国立工芸館、大野からくり記念館

参加費 6,500円(税込) ※バス代、観覧料、昼食代、旅行損害保険料込

※友の会会員以外の方は上記参加費に1,000円加算となります。

定員 先着20名(対象は原則として成人)※最小催行人数10名

募集 9月1日(金)～9月18日(月・祝)

申込方法 参加費をご持参のうえ、当館開館日に受付までお越しください。

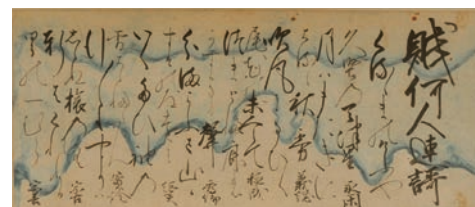




第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023・七尾市地域文化発信事業・令和5年度秋季企画展

能登畠山氏とゆかりの文化

9月23日(土・祝)～10月29日(日)



「賦何人連歌」(部分) 個人蔵 (石川県指定文化財)

能登畠山氏は室町時代に能登国を統治した大名です。同氏は室町幕府の名門・畠山氏の分家にあたり、約170年間にわたって能登1国を掌握しました。

歴代当主たちは政権運営とあわせ文化面へも大いなる関心を示し、京都と交流を盛んに実施。ために同氏拠点の七尾城下は北陸有数の文化都市として繁栄、「能登畠山文化」が大輪の花を咲かせることとなったのです。

本展では、能登畠山氏ゆかりの文化や政治にまつわる様々な作品や史料を展示。また「能登畠山文化」の繁栄の中で、後年大活躍する素養を育んだとされる、桃山時代を代表する絵師・長谷川等伯(1539～1610)の若年期作品などもあわせて紹介予定です。

2023イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 【会期中無休】

11月10日(金)～12月17日(日)

今年もボローニャ展が七尾にやって来ます！

春の「等伯展」と並び、当館の恒例展覧会となった「ボローニャ展」。イタリア・ボローニャで毎春に開かれる「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」はコロナ禍を経て、今年3年ぶりに現地で開催されました。ブックフェアが主催するイラストレーター展もますますの盛り上がりを見せ、今年は過去最多91カ国4,345件の応募があり、日本人5名を含む79組の作家が入選を果たしました。

本展覧会ではこの入選作品のほか、特別展示として2022ボローニャ SM出版賞を受賞したアンドレス・ロペス(メキシコ)の新作絵本の紹介や、「見る」を超えて一触って「見る」ボローニャ展2023、と題して、入選作品を木製の触察パネルにして美術作品へのアクセシビリティの向上に取り組む試みを体験していただけます。毎年楽しみにされている方も多い絵本づくり体験や紙芝居などのほか、金沢市出身の切り絵作家・さぶさちえさん(本年入選作家)によるワークショップも開催予定です。



アンナ・アパリシオ・カタラ (スペイン)



さぶ さちえ (日本)



キム・スンヨン (韓国)

石川県七尾美術館だより No.114

発行日: 令和5年7月1日
発行者: 公益財団法人七尾美術財団
〒926-0855 七尾市小丸山台一丁目1番地
TEL.0767-53-1500 FAX.0767-53-6262
<https://nanao-art-museum.jp>

表紙



「今やう娘七小町 あふむ小まち」歌川豊国
文化年間(1804～1818)中期 錦絵大判 中右コレクション

歌川豊国は、歌麿と並ぶ浮世絵黄金期を代表する絵師の1人。作品名の「あふむ小まち」は、謡曲「鸚鵡小町」(おうむこまち)のこと。年老いて歌を詠む気力も枯れていた小町が、帝の厚意に応え当意即妙のいわゆる「鸚鵡返し」で返歌する才気を見せたという話。本図は、その鸚鵡小町と舶来鳥のオウムを飼う娘と語呂合わせになっている。